

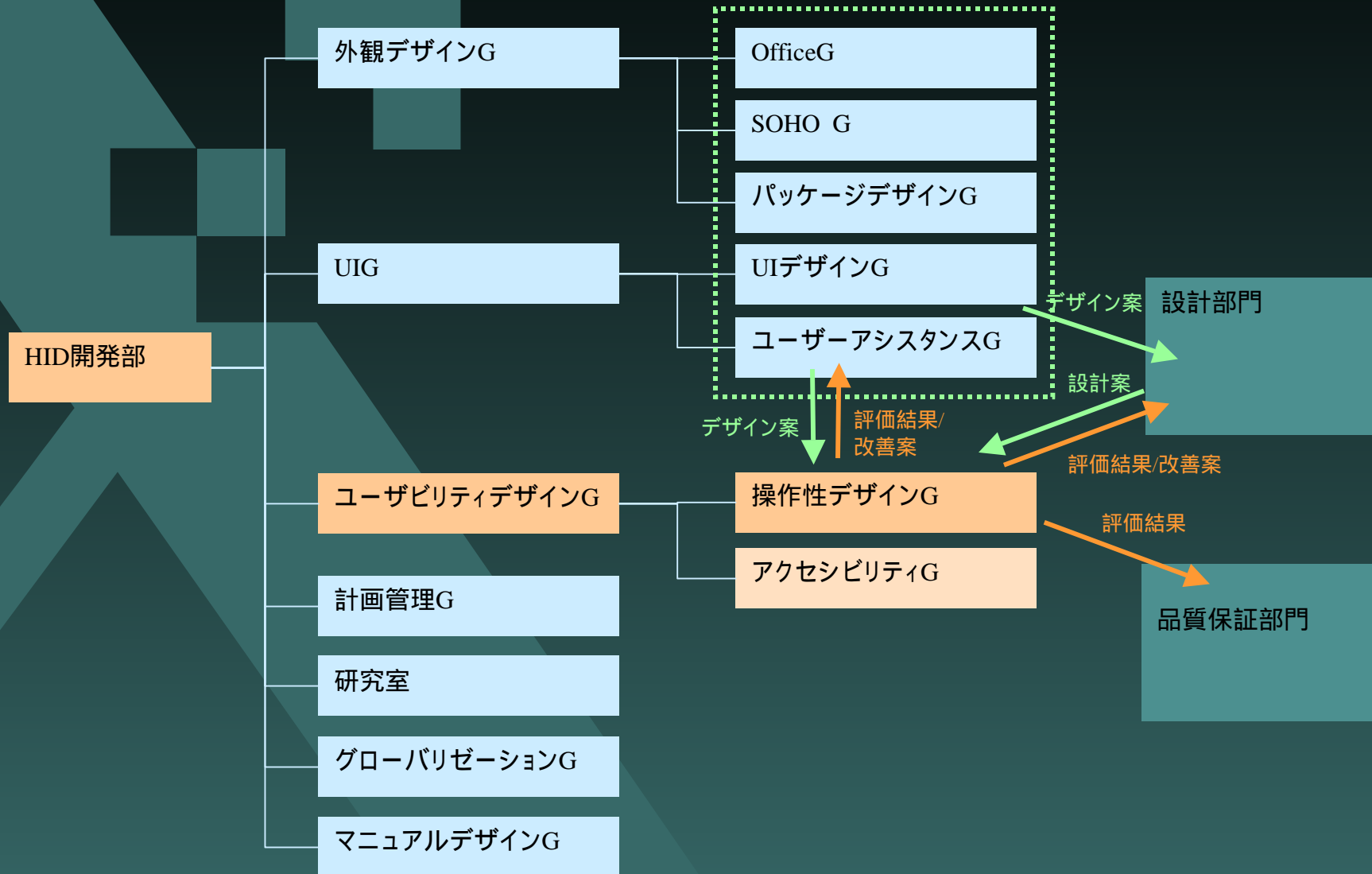
富士ゼロックス株式会社における 操作性デザインガイドラインとその策定機能

富士ゼロックス株式会社
DPC サポート統括部 HID開発部

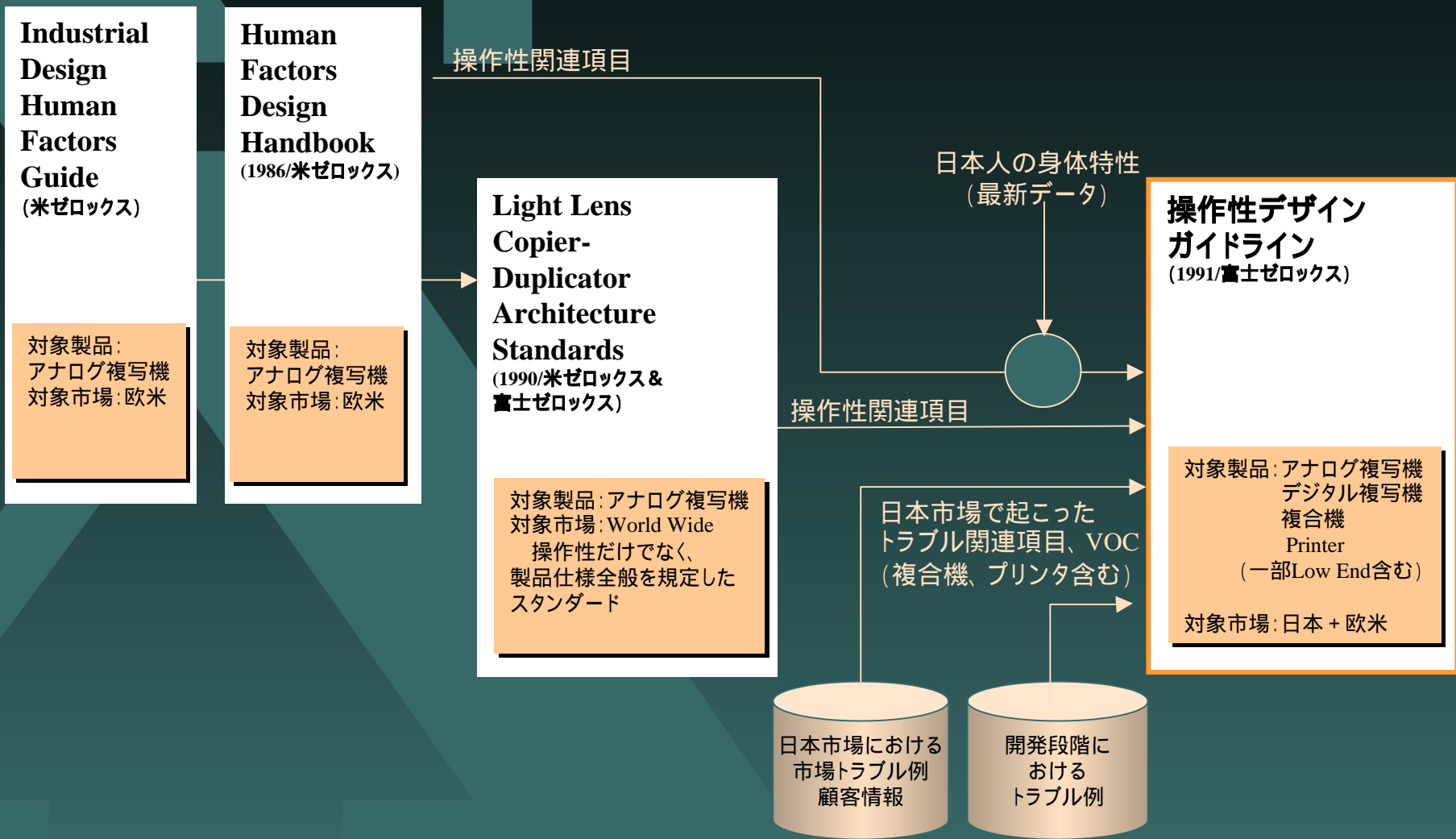
戸崎 幹夫

01.11.08

富士ゼロックスのユーザビリティ組織

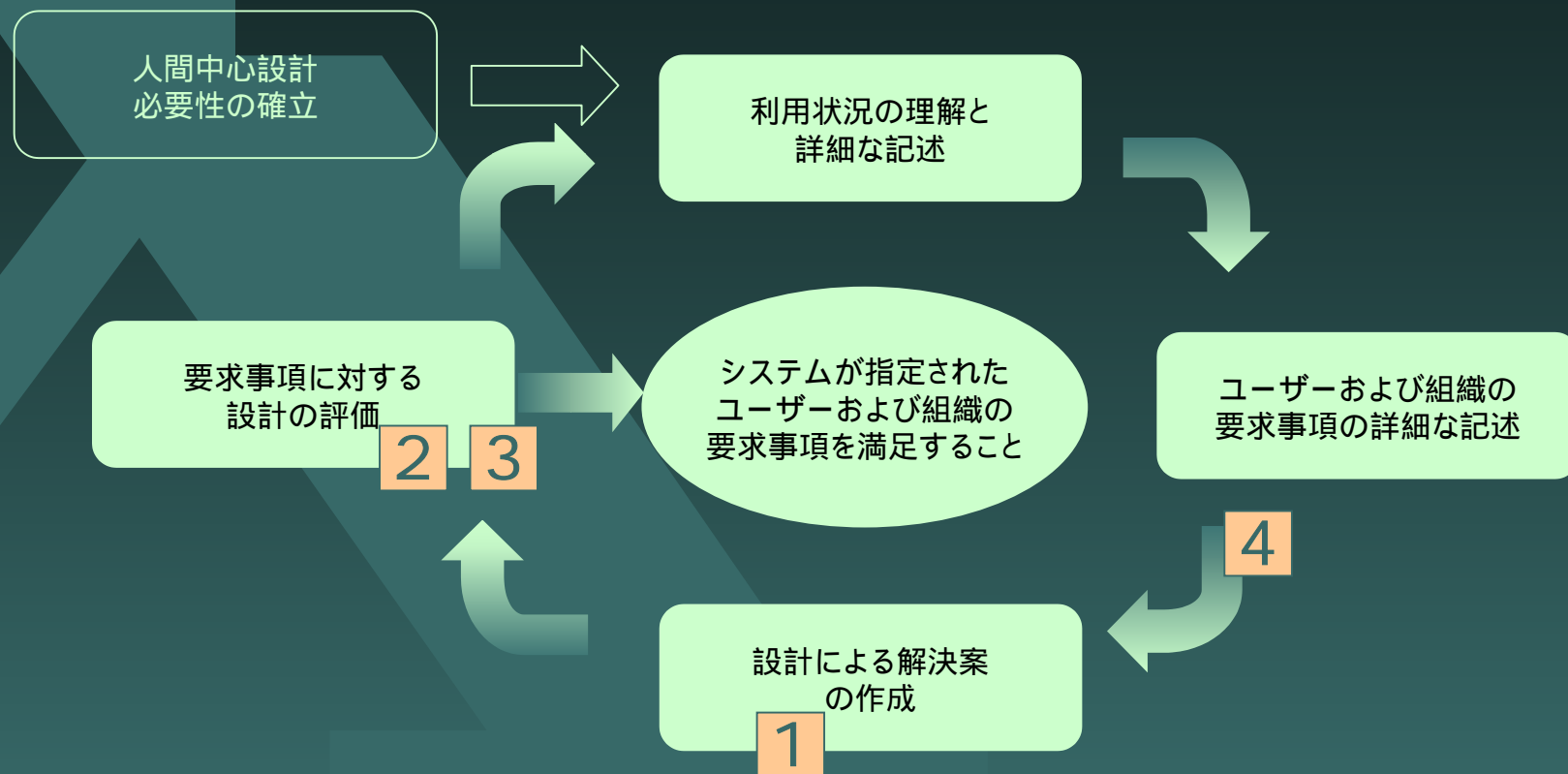


ガイドラインの成り立ちと対象範囲



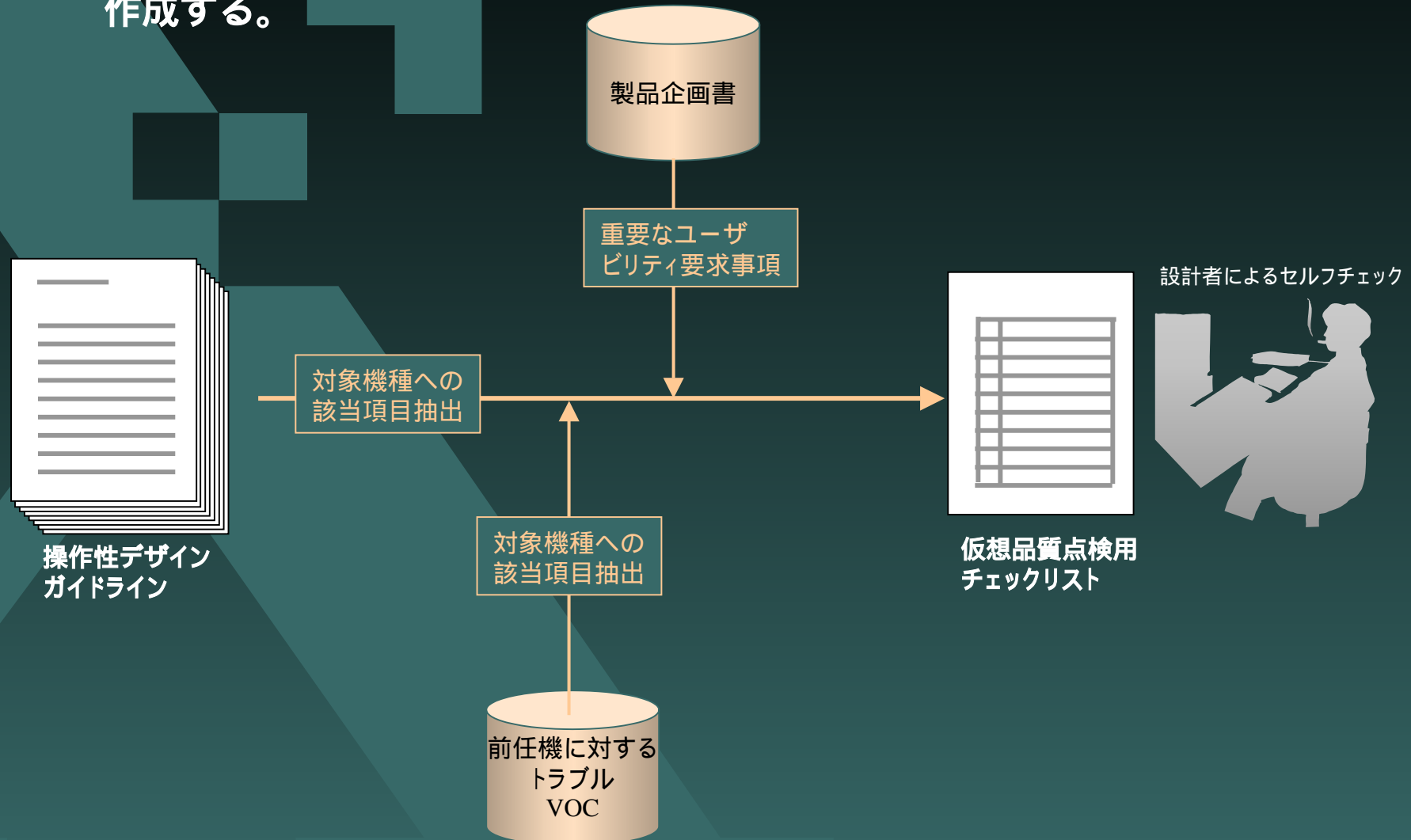
ガイドラインの運用例

- 1. 設計解作成時の設計者、デザイナーによる使用
 - 開発部門データベースシステム上での運用
- 2. 評価時のユーザビリティ評価担当者による使用
- 3. 仮想品質点検における設計者用セルフチェックリストの作成
- 4. 性能仕様書への操作性要求項目としての展開
 - 仕様書とガイドラインの扱いの違いに関する問題



仮想品質点検用チェックリストへの展開

- ガイドラインから対象機種に必要な項目を抽出、また前任機からの改善要求、VOCなどを取りこんで、特定機種用のチェックリストを作成する。



ガイドラインの項目追加/改訂

■ 追加/改訂の目的

- 新機能対応
- 対象機種カテゴリーによる詳細化（項目、条件）
- 市場トラブルの再発防止、VOCへの対応を目的とした項目追加
- 旧式化した内容の削除

■ 改訂プロセス

項目追加申請
(評価担当者)



(申請用フォルダー)



改訂審議会
(操作性G)



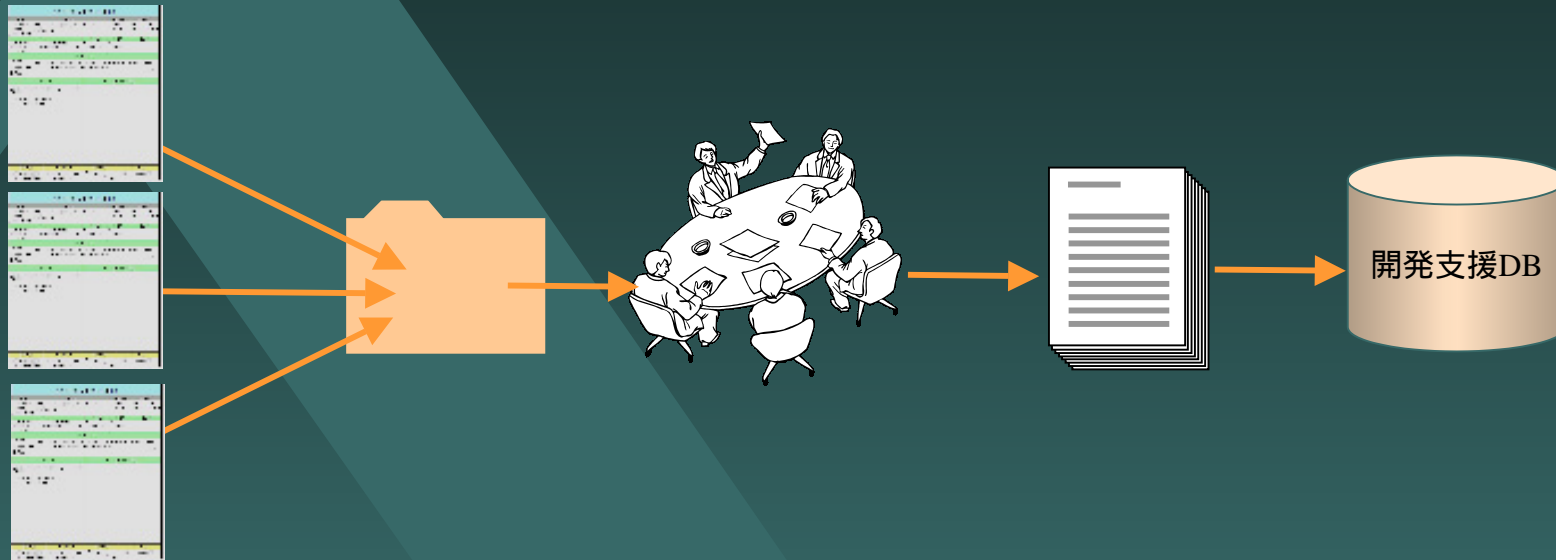
改訂版発行



DB登録



開発支援DB



今後の課題

- 認知的側面でのスペック/項目追加
- 商品カテゴリー別の項目詳細化
- データベースツールとしての改善
- 3D CADシステムとの連携
- よりタイムリーな改訂を行なうためのしくみづくり